

むかし話のあらすじと、正しい「だい名」をせんでむすびましよう

### 1

あるどうぶつが、たすけてくれたおじいさんとおばあさんにおんがえしをする話です。おんがえしのしかたは、自分の「はね」と、おじいさんに買ってきてもらった「糸」をおってし上げた「きれいなぬの」を売ってお金をかせぐことでした。

- おむすびころりん

### 2

お正月が近づいているのに、もちも買えないおじいさんとおばあさんがいました。作っていた「かさ」を売り、もうけたお金でお正月のたべものをかうつもりが、まったく売れませんでした。

- ももたろう

### 3

おじいさんが山でいつものように木を切っていると、おひるの時間になりました。おばあさんがにぎってくれたおむすびを食べようとすると、コロコロころがりあなへ入ってしまった。

- つるのおんがえし

### 4

おじいさんが山へしばかりをしているあいだ、おばあさんは川でせんたくをしていると、大きなくだものがながれてきました。家にもち帰り、たべるために切ろうとしたら元気な男の子がとびだしてきました。

- かさじぞう

